

2004.05.12 IODP 部会事務局

日時：平成16年5月7日（金） 15:00～17:50

場所：海洋研究開発機構東京事務所セミナー室

出席者：執行部 徳山・荒井・伊藤・井龍・木戸・佐柳・徐・巽
部会長補佐 斎藤 事務局 山川・西川

【2003年度コンソーシアム会員総会議事録（案）について】

- ・ 事務局提案のとおり認められた。コンソーシアムホームページで公開する。

【地質学会ニュースへの寄稿について】

- ・ 斎藤部会長補佐から報告があった。IODP 関連の特集記事の一部として、J-DESC から
は、巽執行部員・斎藤部会長補佐が寄稿した。既に原稿は提出済み。

【会長交代手続きについて】

- ・ 事務局から手続きの進行状況が説明された。5月10日までに理事会のメール投票を行
い、その後臨時会員総会（メール投票）を経て、5月中旬に会長の交代を周知する。

【会員提案型活動経費の募集について】

- ・ 事務局から募集要項と審査基準について説明があった。5月10日頃から募集を開始す
る。

【中国との覚書について】

- ・ 斎藤部会長補佐から中国の IODP 参加覚書締結の報告があった。
- ・ 今後、委員数の比率は日・米・その他・中国で7:7:4:1になる模様。

【SPPOC COI ad-hoc committee ・ SOC/POC ad-hoc committee について】

- ・ 4月22日～23日に SPPOC COI ad-hoc committee が開催された。SSEPs における COI
の適用は緩やか、SPC はやや厳格なものとなる模様。
- ・ 5月14日に SOC/POC ad-hoc committee についての国内意見交換会を行う。
- ・ 今後 SPPOC、SPPOC ad-hoc committee 等の対応は、JAMSTEC OD 推進室と連携して対
応してゆく。

【SPC への対応について】

- ・ 5月26日に事前打合せを開催する。SAS WG のレポート等を検討予定。
- ・ 8月の SPC は10月に延期されたとの情報があった。

【TAP への対応について】

- ・ 6月21日ごろに事前打合せを兼ね、技術開発推進専門部会を開催する。
- ・ 委員の CV については、事務局に届き次第、IODP-MI Sapporo に送る。

【SciMP への対応について】

- ・ 6月4日に事前打合せを兼ね、科学計測専門部会を開催し、SciMP における Action Item への対応等を検討する。
- ・ 岡田新共同議長には十分なサポートのできるよう、配慮する。専門部会后、SciMP 前に一度打合せ会を行う予定。
- ・ Rick Murray 共同議長が次回の SciMP で退任するとの情報があった。

【PPSP への対応について】

- ・ 6月1日ごろに事前打合せを兼ね、汚染防止安全専門部会を開催する。
- ・ 次回 PPSP には、森田・鎮守両委員が欠席するが、代理委員は選出しない。
- ・ 松岡 PPSP 委員の退任と、後任の渡辺委員の就任が報告された。渡辺委員は、汚染防止安全専門部会委員にも就任する。

【情報システムワーキンググループの開催について】

- ・ 6月5日に第一回ワーキンググループを開催する。
- ・ ワーキンググループの活動と、CDEX の ISC 準備作業との対応をうまくリンクできるように、配慮してゆく。ISC への対応状況は、適宜坂本ワーキンググループ長（村山科学計測専門部会長）にも伝わるよう配慮する（対応：斎藤・山川 →CDEX 倉本氏へ依頼）。

【SAS メンバーの交代（ローテーション）について】

- ・ 異委員より、SPPOC。SPC 委員の交代につきたたき台が紹介され、SPPOC→SPC→各パネル等の順を基本に、委員の交代を検討してゆくことが確認された。
- ・ 6月の SPC で退任する委員については、早急に後任候補者にコンタクトを取る（徳山部会長）。
- ・ SSEPs について、小玉委員・徳永委員の任期満了に伴う交代の人選を進める。可能であれば委員の公募も検討する（専門部会で調整・幹事会へ報告；6月公募開始、8月頃決定を目途）。井龍執行部員と事務局が対応する。

【AOGS への対応について】

- ・ AOGS においてタウンミーティングを開催することが最終確認された。開催経費が予想以上に高い（20万円程度）が、これについては幹事会に報告し、理解を求める。
- ・ プログラムは、IODP について、日本の科学計画、アジアの研究者の IODP への参加方法などを中心の話題とし、2時間程度で構成する。
- ・ 今後、プログラム・演者の手配等を進める（徐執行部員・木戸執行部員が対応）。
- ・ AOGS には、徳山部会長・徐執行部員・巽執行部員・斎藤部会長補佐が参加し、タウンミーティングの開催、JAMSTEC CDEX ブースの展示協力等を適宜行う。

【IGCP WS について】

- ・ 徐執行部員から説明があった。本 WS は、昨年度会員提案型活動経費で開催支援した WS の第 2 回として位置づけられ、今回は中国がホスト国として対応すること。（今回は J-DESC としての対応は特になし）
- ・ AOGS、IGCP WS は、4 月の IODP Business Meeting (J-DESC ホスト) に引き続き、J-DESC の国際対応の一環と位置づけられ、今後もこれらの活動を通じ、J-DESC の国際対応を進めてゆくことが確認された。

【地球惑星合同大会への対応について】

- ・ 5 月 10 日に J-DESC タウンミーティングを開催する。
- ・ J-DESC のブース展示はないが、JAMSTEC/CDEX ブースで関連展示があるので、J-DESC から担当者も配置し、協力する。
- ・ 地質学会（ブース展示・夜間小集会）、AGU（ブース展示）についても今後検討してゆく。

【IODP E/O Task Force について】

- ・ 5 月 17～18 日に、IODP-MI 主催で、Education and Outreach に関する Task Force が開催され、日本から木戸執行部員・斉藤部会長補佐・CDEX 川村氏が出席する。

【IODP 大学&科学館キャンペーンについて】

- ・ 4 月 16～17 日に、九州大学及び北九州市立自然史・歴史博物館で開催された第一回キャンペーンは、約 250 名の参加者を動員し、無事終了した。
- ・ 第 2 回は 5 月 30～31 日に栃木県立博物館及び宇都宮大学で開催する。
- ・ 第 3 回以降については現在、開催候補地と日程調整を進めている（琉球・島根・高知・岡山・岸和田・山形など）。

【「科学者と掘削技術者の相互理解と将来」ワークショップについて】

- ・ 6 月 3～5 日に、JAMSTEC/CDEX と J-DESC の共催でワークショップを開催する（4 月の執行部会メモ参照）。

【コンソーシアムパンフレットの改定について】

- ・ 事務局からコンソーシアムパンフレットの改定案が示された。意見がある場合には 5 月 15 日頃までに事務局まで連絡する。

【IODP 乗船研究関連】

- ・ 荒井執行部員から、IODP 航海乗船者の推薦作業の状況・結果が報告された。
- ・ NA-II（5 月 3 日締め切り；募集継続中）への応募者が少ないため、再度応募を呼びかけるとともに、適任者がいれば直接コンタクトを取る。（荒井執行部員）
- ・ 乗船研究者のプレスリリースを行う（MEXT 主体でリリース；JAMSTEC・J-DESC が資料提供等の協力をする）。
- ・ 「乗船研究者出張ガイドライン」の作成を行う（ORI・AESTO）。

【その他】

- 異執行部員から、IODP 関連研究予算の現状が報告された。今年度については、競争的資金（学術創成研究費・科研費新規領域など）に頼るほかない厳しい状況であるが、引き続き関係各方面への働きかけを進めてゆく。
- 今年度の乗船研究旅費も厳しい状況であるが、必要に応じ、関係各方面への働きかけを行う。
- 次回執行部会は、6月18日（金）午前10時から行う。